



# 刈谷の ★輝く人



刈谷ですてきな活動をしている人を紹介します！



第94回日本音楽コンクール  
フルート部門 第1位・聴衆賞受賞

ふくだ けい  
福田京さん

## プロフィール

相生町在住、23歳。愛知県立芸術大学大学院2年生。在学中に、優れた若手演奏家に贈られる中村桃子賞、優秀学生賞を受賞。



©宮森庸輔

## 音楽との出会いは中学校の入学式

「いつも支えてくれ、会場で応援してくれた両親、特に涙を流して喜んでくれた母に恩返しができた」と受賞の喜びを話すのは、日本音楽コンクールのフルート部門で第1位に輝いた福田さん。音楽と出会ったのは中学校の入学式で、「先輩方の演奏に感動して、吹奏楽部への入部を決意した」と当時を振り返ります。

フルートの好きなところは「リードを介さず自分の息がそのまま音になるため、喜怒哀楽を表現しやすいところ」で、自身の強みを「音色の引き出しが多いところ。現代音楽は無機質な音色、ロマン派は情熱的な音色など、豊かな表現ができること」だと分析します。

## 初出場でフルート部門第1位

大学院の先生の勧めで今回のコンクールへの出場を決意し、週に3~4日、3時間の練習を重ねました。「練習は効率重視」と話す福田さんは、難しいフレーズの指の移り変わりを頭の中でイメージして、曲全体をどのように吹きたいかを考えてから練習を始めます。

コンクールでは、それぞれ異なる時代の課題曲が設定された3回の予選を経て、本選に進みました。「本番に強いタイプで、気持ちが乗ってくると練習ではできなかったこともできるようになる」と話す福田さんは、審査員が2階席にいることにも臨機応変に対応し、遠くの審査員にも音が届くよう心掛け、暗譜で約25分演奏しました。本選での演奏を「すごいコンクールだと分かっていなかった分、緊張しなかった。最後までミスなく完璧に演奏でき、演奏を終えた瞬間に1位になる自信があった」と振り返ります。堂々とした演奏により、初出場で見事第1位と聴衆賞を受賞しました。

## 海外を視野に挑戦を続けたい

今後の目標について、「海外のコンクールに出場したり、オーケストラのオーディションに挑戦したりしていきたい」と話す福田さん。すでに次に出場する海外のコンクールも決めており、世界に挑戦しようとする福田さんの活躍に、今後も注目です。

## ★輝く人の原動力！

### とにかくフルートが大好き

楽器の展示会で一目ぼれして購入した愛用のフルートを、大切に持ち歩いています。



### 演奏の後にはいつも焼肉

トロとん亭（神明町）は家族でも訪れるお店。好きなお肉は牛タンとホルモン。

